

## 登録内容確認のオンライン化

### ■ 利用率（2024年7月）

- オンラインでの登録内容確認の利用率は7月時点で**14.8%**です。（図 - 2）。
- 利用率は低い現状にありますが、2023年11月に行ったコリンズ・テクリス利用者アンケートでは、すでにオンライン確認をご利用いただいているユーザーのうち**92.4%**の方から**不満な点はない**との回答をいただいています。
- また、コリンズ・テクリス利用者アンケートでは、受注企業から「**発注機関にも登録内容確認をオンラインで実施してほしい**」という意見も多く、2024年1月に実施したコリンズ・テクリス利用者会議では、ご出席いただいた**受注企業の関係団体からも同様の意見をいただいています**。

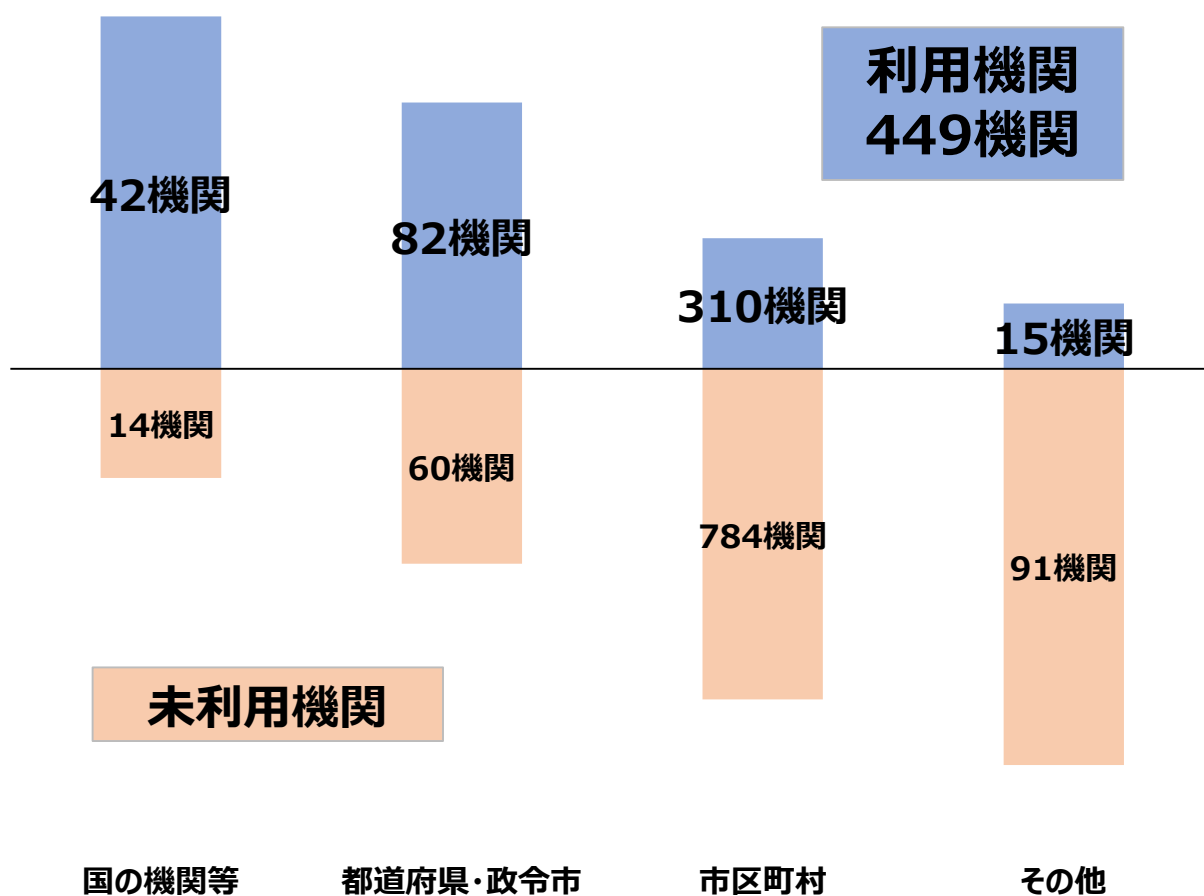


図 - 1 利用可能機関の内訳（2024年7月）

### ■ 利用機関数（2024年7月）

- 登録内容確認システムを利用されている機関は、**449機関**（2024年7月末時点）となっています。実際に利用されている機関の内訳は図 - 1 のとおりです。

※ 登録内容確認システムを利用するためには事前準備を行っていただく必要があります。

詳細はHPまたはQRコードからご覧ください。

[コリンズ・テクリス登録内容確認システムについて | コリンズ・テクリス \(jacic.or.jp\)](http://jacic.or.jp)



☆ DBの信頼性の向上・公正な競争や受発注者双方の働き方改革等、**受発注者双方にメリットの多い登録内容確認システム**をぜひご利用ください。

※利用率 = オンラインによる登録件数 / 全登録件数

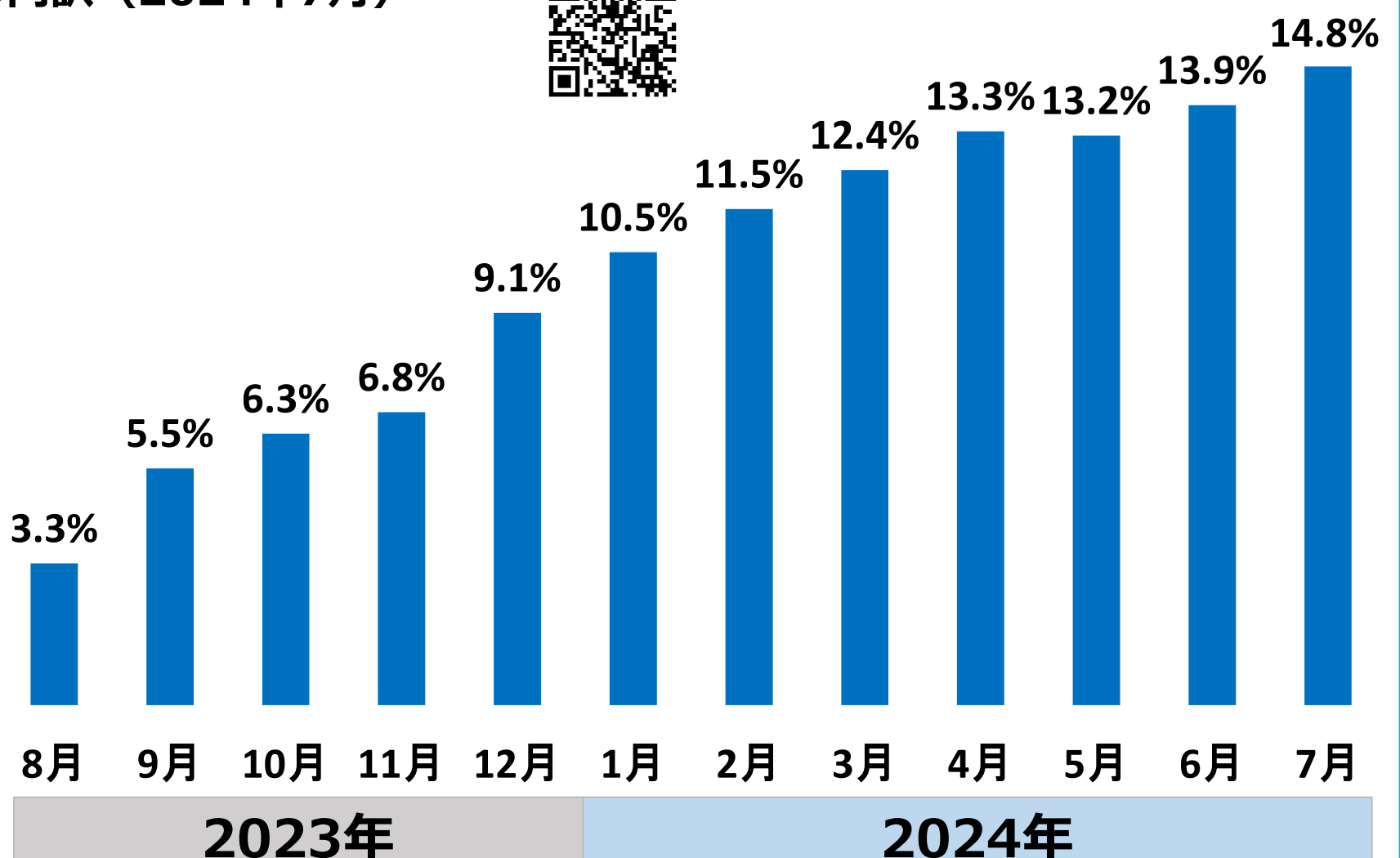


図 - 2 オンライン確認の利用率推移（2023年8月～2024年7月）

# オンライン確認普及のための取組例（登録が250件以上の機関）

## ■ 利用率が高い機関

利用率：2024年7月末

### 山口県（90.9%）

- ① 通知方法について、土木建築部から、**原則オンライン確認で確認結果の通知を行うことをHPでお知らせし**、オンライン確認を利用しています（2023年8月21日）。
- ② **オンライン確認を工事書類のスリム化という取り組みの1つとして行い**、システムで完結することを再周知しています（4月）。
- ③ インポート、エクスポート機能を活用することにより、利用責任者1人で、問題なく約1,800のアカウントを作成、管理しています。

### 広島県（91.7%）

- ① 令和5年10月1日以降、オンラインによる登録内容確認をすることを原則とし、担当者署名による登録を廃止する旨を共通仕様書に記載するとともに、HPへ掲載しています（2023年9月）。
- ② オンライン確認利用促進のため、受注企業に対し、システムを利用し確認依頼を行うよう呼びかけを行い、利用率が1か月で56.3%増加しました（2023年10月）。

## ■ 利用率が伸びた機関：滋賀県（63.0%） 利用率：2024年7月末

- ① 11月に県内企業の架空の業務実績登録を確認。これより県内全発注機関や関係団体に対して、**実績データ登録はオンライン確認の利用を徹底するよう通知しています**（1月）。
- ② 県内の市町においては低い現状のため、県内でのオンライン確認の利用率向上に向けて、本庁主催のオンライン確認の研修会を実施しました（7月26日）。

県内全発注機関に向けオンライン確認の利用の徹底を、2024年1月に通知。

目的 滋賀県・JACICからのお願い

利用責任者のみなさまへ

確認担当者の方へ

滋賀県内の  
全市町において  
アカウント作成  
【登録内容確認システム】

- ① 自らがオンライン確認
- ② 各部署での普及活動

↑：研修会開催の目的



↑：本庁主催の研修会の様子

4.1%

+ 58.9%

63.0%

2023年12月

2024年7月

図 - 3 滋賀県の取組導入前後の利用率伸び率

研修会には県内の土木事務所や18の市町、関係団体等から114名の利用責任者・確認担当者様にご参加いただきました。